



さいかい

2021.8
Vol. **110**
Summer

Contents

- ・長崎県作業療法学会 学会長対談企画！
- ・第28回 長崎県作業療法学会
- ・わたしたちのところで、こんなことやっています
- ・うちの〇〇さん！
- ・【連載】達人tell me
- ・2021年介護保険制度改正のポイント
- ・九州作業療法学会2021 in 熊本に参加して
- ・作業療法参加型実習と職場での後輩育成
- ・令和3年度 提示総会開催報告
- ・新人紹介
- ・お父さんOT
- ・広報局のすすめ本

第27回学会長

桑原 由喜先生

第28回学会長

深見 英則先生

さいかい初!!

長崎県作業療法士学会

学会長対談企画!

第27回学会を終えて

—まずは第27回長崎県作業療法学会が長崎県初のweb学会を無事に終わられた桑原学会長お疲れ様でした。

桑原：ありがとうございます。

—今回のweb学会は掲載が2月15日～3月14日の1か月間とし、特別講演、教育講演、一般演題をオンデマンドでの動作配信、最終日の14日はLIVE配信という形で開催され、無事に優秀の美を飾ったかと思います。学会登録者は635名という結果となり、長崎県のOTだけでなく九州圏域の登録者が129名、九州外が74名登録とweb学会として長崎は先取りし、注目度も高かったのではないかと思います。そこで桑原学会長に質問ですが、635名という結果に対して何か感想など頂ければと思います。

桑原：目標値を最初設定していたんですけどその目標値を上回りはしたんですね。それはやっぱり無料だったことと、オンライン学会としてはとても取り組みが速かったことが良かったんじゃないかなと思います。あとは実行委委員みんなが広報をすごく頑張ってくれてこんなに集まったのかなと思います。県外の登録者が約200人は良かったですね。

—今回初めてのweb学会でしたが、開催準備をするうえで大変だったこと、難渋したことなどあればお願いします。

桑原：最初はコロナ感染ってなかったので現地学会のつもりで取り組んでいました。特別企画でパラスポーツ企画をしようということで、長崎県障害者スポーツ協会の内諾も得て、今度は長崎県の許可を取ろうとしていたところオンラインに切り替えないといけなくなったから、あれが出来なかったのがすごい残念でした。そして企画変更したから一回企画したところがゼロに戻ってまたモチベーションをあげてって、2回スタートを切ったのが大変でしたね。パラスポーツの企画はぜひ県士会の広報で次回取り上げて欲しいと思います。長崎県障害者スポーツ協会の方も合同であることをすごい喜ばれていたんですよ。協会の方たちに申し訳なかったですね。お願いします、今後、太字で載せとってください（笑）

—あと最後なんですけど、僕は実行委員として近くで桑原学会長の働きっぷりを拝見していたんですけど、本当に大変そうだったなという印象がありました。学会が終わった直後の感想をお願いします。

桑原：楽しかったなーって言う感想でした。新しいOTの仲間が増えてやってよかったなと思いました。

—わかりました。ありがとうございました。

—次に深見学会長へ質問です。27回学会が開催される頃にはすでに28回の学会長の内定が下っていたと思います。その際次の学会長としてまた違った視点があったと思います。深見学会長から見て27回学会はどんな学会に見えたのか印象を教えてください。

深見：最初のオープニングを見ることから始まったので映像のストーリーがあったりして、それぞれなんか楽しそうだなって最初は思いましたね。そして一般演題とか講演の先生方がすごくバラエティに富んで、現地ですたらあんな講師陣呼べないしwebでする良さってあるなって思いました。これ無理やろうって思いましたけど（笑）

—前の質問と若干被るのですが27回学会を一言で表すと？

深見：県北では無理だ（笑）本当にwebとか詳しくなくて、それぐらいすごかったってことです。

—次の質問に移ります。今回学会参加者に対してアンケートを実施し、回答者225名で回答率が35.4%。その結果をもとに質問をしていきます。学会に参加された方は特別講演の講師陣が豪華だった、およびその内容、一般演題コンテンツが良かったという意見が多かったんですが、桑原学会長、やはりそこは力を入れた部分だったのでしょうか？

桑原：講師陣はやっぱりwebでしたことで全国規模を呼べたんですもんね。それでよかったんだと思います。で、枠も時間を60分とってますので、見ごたえがあったなーって。だからそこは良かったですね。あとはどの企画も、演題のコンテンツとかあと広報でもPRとか、見せ方にもこだわって、ホームページとか、一般演題の発表の仕方もどれがいいかってだいぶ検討しましたもんね。均等にどれも力を注いだって思いました。

—次の質問に移ります。今回学会参加者に対してアンケートを実施し、その結果をもとに質問をしていきます。学会に参加された方は特別講演の講師陣が豪華だった、およびその内容、一般演題コンテンツが良かったという意見が多かったのですが、桑原学会長、やはりそこは力を入れた部分だったのでしょうか？



桑原：講師陣はやっぱりwebでしたことで全国規模を呼べたんですもんね。それでよかったんだと思います。で、枠も時間を60分とってますので、見ごたえがあったな一って。だからそこは良かったですね。あとはどの企画も、演題のコンテンツとかあと広報でもPRとか、見せ方にもこだわって、ホームページとか、一般演題の発表の仕方もどれがいいかだいが検討しました。均等にどれも力を注いでできたと思います。

——次に深見学会長にお尋ねしたいのですが、27回学会で印象に残ったコンテンツがあれば教えてください。

深見：講演がボリュームがあって豪華な先生たちの講演も聞いて良かったなっていうのと、瑞宝太鼓すごい感動しました。

桑原：嬉しい、あそこ力入れたんですよー！あれはもう是非したくて。

WEBでの学会開催について、そして第28回学会へ

——参加費が27回は無料だったこと、ウェブ開催だったことで、参加された方は多かったと思います。長崎は離島や僻地も多い為、web学会開催を望む声は多かった。両学会長にお聞きます。ハイブリッド学会を望む声も多いが、今後学会の在り方をどう考えていらっしゃるでしょうか？

桑原：28回はハイブリッド学会ですか？

深見：一応。ハイブリッド学会を謳ってはいますが、感染状況をみながらですね。

桑原：大変だと思います。webだけであれだけ大変だったんですよ？長崎は離島も多いからウェブ学会の開催はとても良いと思います。そして繰り返しみれるので隙間時間の有効活用にもなりますから。オンデマンドの配信は価値があるなと思います。でもそれをさらに現地にも呼ぶという。色々考えて行かないといけないから大変そうって。

深見：結構アンケートにもハウブリットを望む声が多くあって。生っていうか、なんですかね。学会それぞれ見れる良さもわかったし、なんかちょっとぼそぼそしゃべる中でちょっと質問してみようかって思うのは結構あるあるだと思うんですよ。演者も急にくる質問に対応するののも一つの技術、練習になってインパクトに残ることだと思う。なのでハイブリッドをやろうと思っています。

——それでは次の28回学会で特に力を入れている部分、入れようと思っている部分を教えてください。

深見：そうですね。ハイブリッドでやっていきたいという所が一番のポイントですね。誰でもどこからでも安心して参加できる学会ができればと思います。あと僕は発達分野ですとお仕事させてもらっているんで、発達に関する体験のブースを設けて企画をやっていこうと思っています。作品展だったり、作業療法の良さ、魅力が伝わるような、企画を各施設に投げかけてやっていけたらなと思っています。

——28回の学会に対する意気込みや見どころ、アピールポイントをお願いします。

深見：それでは恥ずかしいんですが語らせてもらって良いでしょうか？第28回の学会のテーマを「探求と深化～地域で役立つ作業療法へのこだわり～」とさせてもらいました。今、作業療法士が活躍する場は多様性を求められていると感じます。今までのセラピストの“してん”に囚われず新しい“してん”を探求する力と今までの“してん”を深く掘っていく力を使っていくことで患者さんや利用者さんの生活を変えていけたらと考えています。実は“してん”っていろいろ考えていたら、色んな“してん”が出てきました。

作業療法に必要な『してん』

- ①始点（アセスメント）：早くて正確なアセスメントがあれば根拠につながる
- ②視点（概念・考え）：脳神経生理学、整形外科学、認知行動療法、感覚統合など
- ③支点（アプローチ、作業活動、環境調整、参加活動）：患者さんをどういう風に支えていくのか
- ④思点（患者様の思い、セラピストの考える将来像とその共有）：患者様と向き合って、やってきた事、やりたい事、できそうな事をすり合わせていく作業
- ⑤姿点：患者様の姿勢・知覚・認知を変え、どのように生活につなげていくのか、行動変容につなげるのか。OTを進めるうえでのセラピストの姿勢。

こういういろんな“してん”を探求・深化するような学会が運営できればと理想を持っています。

桑原：すごい！

深見：発表形式も27回学会でもらったような録画と感染状況をみながら対面でも来れる人は来てもらえる会場設営もしていこうと思っています。質問応答もその場とオンラインでできればいいなと思っています。以上です。

——ありがとうございます。

桑原：わかりやすいですね。一日ライブをするんですね。それを配信のような感じで？

深見：そうですね。講演関係は録画配信かなと思っています。一般演題だけでも生の良さをできたらと思っています。

——なんだか深見学会長の熱い思いが“してん”に込められていますね。それでは最後になりますが、桑原学会長から28回学会へエールを頂けたらと思います。よろしくをお願いします。

桑原：深見学会長をはじめ実行委員の方は大変だと思いますが頑張ってください。県士会のみなさんの協力がなくて学会が成り立たないので、全国規模の学会と比べた時の県学会の良さが出るように県士会員みんなが学会に参加してもらえるとすごく良い学会になるなというのは第27回学会でも感じました。大変ですよ、頑張ってください。楽しみです。

第28回 長崎県作業療法学会

「探求と深化」～地域で役立つ作業療法へのこだわり～

今年度は佐世保での開催予定です。まだまだコロナ禍が続いておりますが、学会委員一同、開催に向けて精一杯頑張ります！よろしくお願い致します！

実行委員長

耀光リハビリテーション病院
朝里 良太



手探りの状態でよりよい学会になるよう尽力している所です。実りのある学会になるよう邁進してまいりますので、皆様のご協力よろしくお願い致します！

事務局長

耀光リハビリテーション病院
戸田 皓之



初めて学会運営に携わらせて頂きます。微力ですが、学会成功に向けて、事務局の運営を一生懸命頑張りたいと思います。

WEB企画

杏林病院
立木 康貴



初めてのことばかりで戸惑ってばかりですが、楽しみながら取り組んでいます。スムーズな学会開催に向けて一生懸命頑張っていきます。

LIVE配信

耀光リハビリテーション病院
東原 太郎



学会長を全力でサポートできたらと思います。またコロナ禍であるからこそLIVE配信を通し、みなさんに情報発信して行けたらと思います。

プログラム

木引田健康クリニック
永石 光



円滑な学会進行を目指して努力します！

演題採択

耀光リハビリテーション病院
三宅 陽平



たくさんの演題登録をお待ちしています！

広報

佐世保記念病院
前川 絢乃



慣れない事ばかりで不安も多いですが、1人でも多くの方に学会に参加して頂けるよう、広報活動頑張りたいと思います。

特別企画

西海病院
勝元 笑利奈



特別企画では、臨床に役立つ講演や作業療法の良さを実感できる企画をお届けしたいと思っています！慣れない事も多いですが、精一杯頑張ります。

学会長
佐世保市子ども発達センター 深見 英則

多くの方の協力のもと学会成功に向けて準備をしています。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



今年是对面とweb配信のハイブリット開催！

会期：2022年2月19-20日（2/21-3/20:オンデマンド配信）

平戸市における5歳児健診の取り組み

事業内容

本健診は市内全保育所・幼稚園・認定こども園の協力を得て、年中児を対象に健診を行っています。加えて、市外通園児や未就学児に対しては集団健診を実施しています。また前年度に経過観察すると判定した年長児についても健診を行い、成長の確認を行っています。



目的

3歳児健診では気づかれにくい発達障害(疑いを含む)について、早期発見・早期療育支援を目指し、5歳児発達健診事業を実施しています。また、本事業を通じて関係機関と支援を実施し、平戸市における発達障害児支援体制整備につなげていきます。

実績

年度	開設回数	対象児数(人)	受診児数(人)	受診率(%)
平成29	28	年中 253	251	99.2
		年長 70	70	100
平成30	29	年中 216	215	99.5
		年長 106	105	99.1
令和元	27	年中 237	237	100
		年長 76	75	98.7
令和2	26	年中 226	226	100
		年長 103	102	99

平戸市では、平成25年度から5歳児健診の取り組みを始めてきました。

5歳児健診は、従来の乳幼児健診では発見できない発達障害(対人関係や社会性の弱さ、集団生活上の困難さ)をスクリーニングし、支援が必要な子どもに適切な支援を行う目的があります。

平戸市の5歳児健診では子ども達が過ごし慣れている園で行うことで、少しでも普段に近い様子がみられ園の先生方とも話が出来ます。保護者との情報共有が必要な子どもについては、園のお迎え時間に保健師が出向き1人1人に健診結果を伝えるようにしています。地域の医療機関のDrとOTとST・保健師・学校教育課の職員が関わり、それぞれ専門的な視点で評価を行っています。

健診終了後に園の先生方も交えカンファレンスを行い、園での対応や関わり方への助言などを行っています。また1~2年後には就学を迎える子ども達なので、学校教育課の職員との情報交換も大切になってきます。子ども達1人1人が生き生きと輝けるようにOTとして出来る事を医療機関と一緒に連携しながら取り組んでいます。

最後に

発達確認や就学準備支援が必要な子どもを対象とした健診の事後教室である就学準備教室を行い、親子への支援体制も整ってきています。しかし、就学後はOTとして関わる機会が少なくなるため、今後よりよい支援ができるよう関係機関との連携構築に努めていきたいと思ひます。

うちの〇〇さん！

あなたの職場で頑張っている人を紹介してください

長崎原爆病院 松田大輝さんの紹介

私が紹介するのは長崎原爆病院で働いている**吉岐尾優太**さんです。吉岐尾さんは臨床ではがん患者さんを中心に内部疾患や整形外科疾患など様々な患者さんを対象に作業療法を実施しており、患者さんのQOL向上のために日々の関わりだけでなく臨床研究も実施されています。また、OTの先輩として後輩である私たちを優しく見守り、様々な面で支えています。家では2児のパパとして子育てを楽しんでおり、仕事以外の時は子どもさんと遊び、QOLを向上させているそうです。



西海病院 石橋俊作さんの紹介

私が紹介するのは、**菅崎流理**さんです。佐世保の西海病院という精神科で、毎日ワイワイ楽しく働かれています。休日は主に家の掃除をされているそうで、最近は断捨離にハマっているそうです。職場では一般病棟を担当しており、入院患者様の退院に向けてのアプローチや退院後の生活にどう繋げていけば良いか考えながら作業療法を提供されています。何よりも大切にしていることは患者様のニーズ、そして退院後の生活に繋げるためにOTとして何が出来るのかということだそうです。仕事への真摯な姿勢やその人柄というのは私自身とても尊敬できる先輩です。



紅葉病院 庄司大樹さんの紹介

当院、作業療法士の**峯信一郎**さんを紹介しようと思います。峯さんは当課の中堅として在籍し、課内、他部署においてもムードメーカーキャラとして日々、笑いを生み出しています。また、患者様への言葉遣いは丁寧で、物腰も柔らかく、とても親しみやすいOTとして患者様からも人気者となっています。現在は、学生の指導も行っており、頼れる一員として活躍しております。ちなみにギターは弾けません。



南高愛隣会 川中瑞帆さんの紹介

私が紹介するのは**富田千晶**さんです。私の職場は、発達障害をお持ちの小児期から老年期の方々が通所される複数の事業所から構成されています。富田さんはこのような幅広い障害特性をお持ちの利用者様に対し、OTが少ない中、他職種と連携した支援や介入を実践されています。現場の職員さんからの質問や相談に対し、具体例や分かりやすい例えを用いながら専門職の視点でアドバイスされたり、時には悩みに耳を傾けたりとチームでの支援に欠かせない存在です。



三原台病院 小森夏樹さんの紹介

当院の古川拓弥さんをご紹介します。古川さんはユーモアのセンスが爆発しており、彼の周囲では常に笑いが絶えません。それだけに留まらず、勉強熱心で常に向上心と教科書を小脇に挟んでおり、患者様・スタッフからの信頼と面の皮も大変に厚い人物です。加えてアウトドアも極めており、仕事が終わればランポーの様な風采で帰宅前に焚火で一息ついて帰宅するなど、仕事とプライベートのワークバランスを完璧にこなす現代の正に理想的な人物ではないかと思えます。



児童発達支援センター ポランのひろば 鴨川拳さんの紹介

私が紹介するのは**岩本悠**さんです。とても前向きで、決断実行が非常に迅速な、何でも相談できる頼れる先輩です。「何か面白いこと、新しいことはないかな？」と普段から考えられ、常識にとらわれない遊びを展開し、子どもたちも、やっている本人も笑顔になっているセッションが印象的です。



臨床疑問を持つことの重要性

十善会病院 中島 輝



研究とは

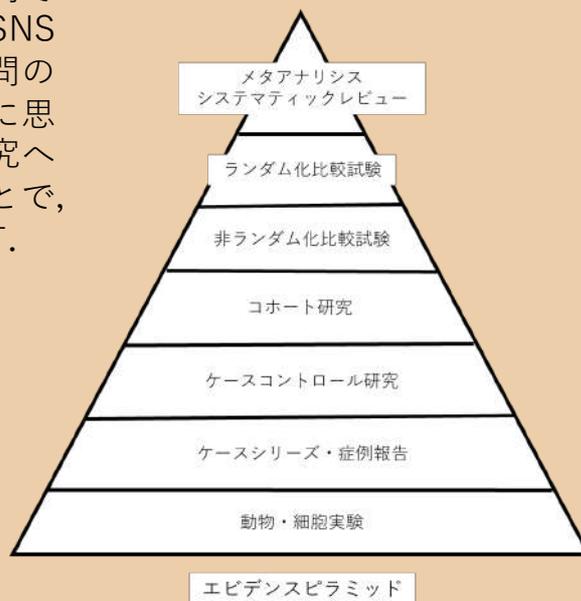
『ある特定の物事について、人間の知識を集めて考察し、実験、観察、調査などを通して調べて、その物事についての事実を深く追求する一連の過程のことである』とされています。私は作業療法士となり13年目、研究活動を始めて約10年目となりますが、これまでの研究活動を通して“出会った”方々には多くの刺激（知識・技術・心構え）を頂き、この経験は自身の臨床活動を見直し、より深く、より良いものに発展させることに繋がっているのではないかと感じています。

私が研究を始めた きっかけ

は「脳卒中後の運動麻痺はどの程度良くなるのか?」といった臨床疑問を持ち、一人の脳神経外科医と“出会った”ことです。この“出会い”は私の臨床への考え方を大きく変え、研究においても道標として、多くのことを学ばせて頂きました。研究の詳細は割愛しますが、私たちは脳卒中患者を対象に発症14日目の拡散テンソル画像は3か月後の上肢麻痺の予後予測を予測することが出来ることを立証しました。この研究で考えていたことは、対象者の「麻痺は良くなるのかな?」といった質問に答えることが出来ない現状をどうにかしたい、このことであつたと思います。

一方、研究に対しては「やり方がわからない」「難しい」、「きつい」、「自分の時間が無くなる」というネガティブな印象や「研究＝大規模」と取っ付きにくい印象もあるのではないかと思います。確かにその様な側面があるもの事実ですが、私たち作業療法士において研究の始まりは“事例報告”であり、まずは日々の臨床において生じている現象に対して懐疑的な見方を持ち、臨床疑問を持つことが重要になるのではないかと思います。

次に臨床疑問は抱え込むのではなく、それを職場内で発言することが大事です。現在はインターネットやSNSなどを通じて多くの知識を得ることが出来、臨床疑問の解決に役立つ情報があると思います。まずは、疑問に思ったことを発言し、自身で調べ、興味が沸いたら研究へつなげる。この様な流れで日々の臨床活動を行うことで、新たな発見や気付きも増えるのではないかと思います。



次回は長崎大学の森内先生に臨床研究の進め方に関してまとめて頂く予定です。是非とも、楽しみにお待ちしております。



2021年介護報酬制度改正のポイント



令和3年度介護報酬改定の概要

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「**自立支援・重度化防止の取り組み推進**」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を図る。

2021年度、介護報酬改定の5つのポイント

- ①「感染症や災害への対応力強化」：感染症対策や業務継続の取り組みを全サービスで義務付け
- ②「地域包括ケアシステムの推進」：必要なサービスが切れ目なく提供されるよう取り組みを推進する
- ③「制度安定の安定性・持続可能性の確保」：評価の適正化・重点化 報酬体系の簡素化
- ④「介護人材の確保・介護現場の革新」：人材不足に対応したICT等の活用による業務効率化
- ⑤「**自立支援・重度化防止の取り組み推進**」：新データベースへの情報提供とフィードバックの活用の推進



自立支援・重度化防止の取組の推進について

■制度の目的に沿って質の評価やデータ活用を行いながら、**科学的に効果**が裏付けされた質の高いサービス提供を推進

- リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の取組連携・強化
- 寝たきり防止等、重度化防止の取組の推進
- 介護サービスの質の評価と科学的介護の取組の推進**

POINT.
科学的介護の推進

VISIT(2017～運用)

通所・訪問リハの効果と科学的な根拠に基づいて分析する為のデータベース



CHASE(2020～運用)

科学的介護の実現を目指し、利用者の状態やケアの内容などを集積したデータベース



CHASEとVISITが統合され新名称「LIFE」

LIFE...
Long-term care
Information system
For Evidence
「科学的介護情報システム」

○今回の改正では、「調査・分析」の対象に「**介護サービスの内容**」や、「その**サービスの利用者の心身の状況**」等が加わります。

LIFE導入のメリットは？

仮説に基づくPDCAサイクルを回し、試行錯誤を繰り返し介入するのですが、蓄積された情報を解析すれば、「利用者の自立度の指標」が改善したケースを参照し、「どんな機能訓練計画を立てていたか」等を導き出せる可能性があります。

今後は「介護サービスによる取り組み」「アウトカム(結果)」を関連させることで、試行錯誤の関わりに、現場が振り回されることが少なくなる可能性がある...?かも。

補足

SPDCAのサイクルとは

1950年代に米国の統計学者であるデミング博士によって提唱された考え方で、製造業などをはじめとして生産技術や業務品質を管理するための効果的な手法として日本でも普及が始まりました。

- 初回調査(SURVEY)
- ケア計画等の作成(PLAN)
- 当該計画等に基づくサービスの提供(DO)
- 当該提供内容の評価(CHECK)
- その評価の結果を踏まえた当該計画等の見直し・改善(ACTION)



九州作業療法学会2021 in 熊本

Kyusyu Occupational Therapy Congress 2021 in Kumamoto

「響創」

～作業療法が奏でる人・作業・環境のハーモニー～
に参加して



是真会 長崎リハビリテーション病院 神田龍太
藤原謙吾

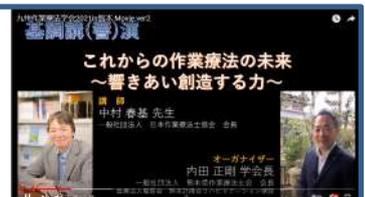
6月19日と20日に開催された九州作業療法学会2021に参加しました。今回の学会はコロナ禍の影響で、「Zoom」、「YouTube」、「LINE」を駆使した学会となっていました。ここでは、(私たちの)発表の様子や学会全体のトピックスを中心に紹介します。

発表は、Zoomを使用し、1分間のフラッシュトーク、その後は白熱!?!の質疑応答!!
慣れないZoom操作、画面越しの聴講者、味わえない熊本の郷土料理!と大変なことも多かったです、とても有意義な学会発表となりました。また、チャレンジしたいと思います。

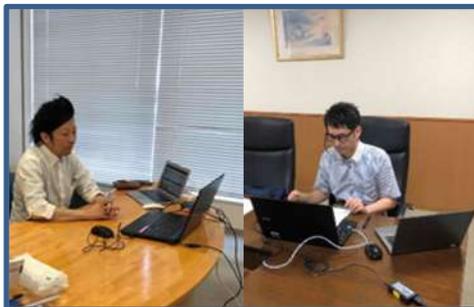


Topic 1 基調講演

基調講演や教育講演は事前動画 (YouTube動画) を聴講でき、学会当日はYouTube liveでリアルタイムの講演がありました。基調講演では、会長の「生活を見ているのか」という問いかけに対して、作業療法の方法論だけでなく、「対象者の生活のことを知る」ということを改めて考える機会になりました。



Topic 2 一般演題



一般演題は101演題、セッション別で見ると高齢期や脳血管疾患が多かったです。長崎県からは約20演題の発表がありました (学会誌より)。手指の麻痺に対しての「リアル装具」の発表は興味深かったです。期間中 (6月中) はすべての演題 (ポスター) はHP上でいつでも閲覧可能で、「Web学会ならではの!」を感じました。私たちも「自動車運転」「運動イメージ」「災害」のテーマで発表してきました。

Topic 3 バーチャル機器展示

バーチャル機器展示 (図:九州OT学会2021HPより)



HP上で11の企業からの機器展示がありました。YouTubeによる機器紹介で、ベッド、高機能マットレス、リフト、移乗アシスト機器、車いす、運転関連シュミレーター、運転補助装置などの情報が満載でした。資料等 (PDF) のダウンロードが可能であり、気になるモノをチェックすることができました。OTとしてはモノを触りながら体験したいので、特に気になるモノは、レンタルできるか企業に相談したいと思います。

長崎北病院 牧野航

-もう悩まない！

私は臨床実習指導者講習会（以下、講習会）に講師の1人として参加した経験を通して実習生指導や後輩育成に関して、少し悩む機会が減ったと実感している。

-実習指導のやり方に正解はあるか？

実習生の指導は一部の先輩達からは面倒な仕事と聞いていて、確かに業務後のフィードバックやレポートのチェックなどで残業は増えるし、指導したことがなかなか改善されなくて腹が立つこともあった。思い返せば実習生の指導に関しては特に学習した経験もなく、自分自身が指導してもらった経験を元に、臨床に出てからの自分の経験や考えを上乗せして指導に当たっていた。先輩や上司がサポートに入ってくれていたが、問題が起きない限りはほとんど自分が中心となって学生の能力などに合わせて実習を進めていった。

-指導・教育にも技術や知識が必要だった！

実習生も十人十色で様々な個性があるため、実習指導には悩みが尽きないと思っていたが、講習会に参加してみると、自分の経験したような悩みや、他の指導者が担当していた手のかかる実習生などへの対応策なども講義の中に出てきた。また、グループワークを通して色々な意見を聞くことで自分のエゴや課題にも気づくことができた。

-実習指導だけでなく後輩指導にも！

講習会で学習することの一つに「見学・模倣・実施」の習得がある。一見、簡単そうであるが、見学だけみても「十分な説明と解説を加えながら」の見学であり、ただ見てもらうというわけではなく、そこに指導者のスキルが求められる。

昨年度からコロナウィルスの影響で実習が来ず、実習の重要な学習テーマであるOTの臨床思考過程を学ぶ機会が少なかった。その学生が現在、新人として頑張っているのだ。当院では以前より見学・模倣・実施の考え方を取り入れた新人教育を行っており、早朝訓練や通常の作業療法介入、書類作成など、ほぼ全ての業務に関して担当指導者がついて指導をしてくれている。チェック表を用いてリスク管理をクリアした業務から独り立ちしてもらっている。また、新人も含む全職員を対象に経験年数毎に習得を期待する業務一覧（ラダー）を作成しており、それが全職員の成長目標にもなっている。

学生教育も新人教育も同じ「教育」であって一般目標や行動目標を立てて行うべきであり、OJT（On the Job Training）を通して展開することが望ましいと考えられる。つまり実習指導者講習会で学べることが学生・新人どちらの教育にも役立つと思われる。

-さいごに

臨床実習指導者講習会は4年以上の実務経験、つまり5年目から参加が可能となる。また、この講習会を受講することで実習指導にあたることができるという一つの権利にもなってきている。実務経験4年目未満の方々、是非楽しみにその時を待っていて欲しい。

R3年度の臨床実習指導者講習会の日程

1回目	2021年 9月 4～5日
2回目	2021年 10月 30～31日

※いずれもZOOMIによるweb開催を予定。
※上記の予定は実際の準備によっては変更の可能性あり。
※詳細については、県士会HP及び教育局Face bookにて随時更新の予定。



※講義の様子

令和3年度 定時総会開催報告

今年度は完全オンライン

令和3年6月6日、昨年度に引き続きZoomを使ったオンラインで開催された定時総会は、委任状と当日参加を合わせて700名の参加となった。多くの会員の皆様のご協力があり、無事に会は成立し、議案も承認していただいた。このコロナ禍で各局の事業が縮小したため、全体的に予算を多く余らせることとなった。今年度も基本的に県士会主催研修会をオンライン配信し、参加費無料とすることで、会員の皆様に少しでも還元していきたいと考えている。また、今後もwithコロナを見据えて、工夫した事業の展開を検討していきたいと考えている。特に島嶼部が多くある長崎県においては「オンライン」を併用したハイブリットイベントに移行できるような機材の準備や人材育成を進めていきたいと考えている。

また事務局事業では、近年毎年事務所の借用等を事業計画に入れているが実現できず、皆様にはご迷惑をおかけしている。今年度中には目処が立てられるよう調整していきたい。決まり次第、会員の皆様には報告したいと思う。

昨年度は非常に不慣れだったオンライン開催イベントも、多くの皆様がこの1年で使い慣れた身近なツールとなった。今回の定時総会もメイン会場を置かず、全参加者が自宅、もしくは職場から参加していただいた。今回も質問を事前にいただけるようフォーラムを準備した。2件の質問をいただき当日回答いたしましたので、当会ホームページに掲載している総会議事録をご覧ください。



第29回学会長（大坪建さん：2段目中央）の挨拶場面

次年度県学会長の選任

総会では次年度の県学会長の選任と挨拶が恒例となっております。昨年度の総会では今年度の第28回県学会長の深見氏（佐世保市子ども発達センター）が選任・承認され、ご挨拶をいただきました。そして今回、第29回県学会長に大坪氏（和仁会病院）が選任、承認されました。なんと2年連続で学会長挨拶時に音声が出ないトラブルがあり、場を和ませてくださいというサブプライズをしていただきました。今年度（第28回）はアルカスSASEBOをメイン会場にオンラインとのハイブリット開催が予定されています。次年度第29回はどんな形式で、そしてどんな雰囲気のある学会になるのか、どちらも今から楽しみですね！

文：福島浩満事務局・広報局

オンライン 総会を終えて

会長 沖 英一

6月6日に一般社団法人長崎県作業療法士会総会をオンラインで開催しました。令和2年度の事業は、コロナ禍の影響ですべての研修会がオンラインとなりました。オンライン開催のメリットとして

- ・インターネットの環境と機器（パソコン・タブレット・スマートフォン）があればどこでも参加が可能
- ・会場費、交通費の削減
- ・デメリットとしては、

- （一）に不慣れの人には参加が困難となり情報格差が生じやすい
- ・研修会参加者との交流が少ない
- ・コロナ禍の終息後は、以前と同じように対面での研修会・学会が開催されるようになるでしょう。それ場合でもインターネットを活用した情報配信方法は継続していきます。今まで研修会に参加したくても移動手段や時間的な問題で受講できなかった会員の参加機会が増えていくこととなります。研修会・学会の講演など撮りためた情報を保存して会員が自由に閲覧できるようにデジタルアーカイブも検討していくことで資質向上に寄与できると考えています。当然、著作権侵害の問題・個人情報の公開の危険性などを十分考慮して情報を発信する必要があります。

また、各市町が開催する地域ケア会議もオンライン開催が多くなってきました。インターネット環境が整っていれば、どこからでも参加可能です。

県士会の地域包括対策部では、県内52か所の地域包括支援センターに対して会員が希望すれば地域ケア会議や介護予防事業等の見学が可能かとの調査を行ったところほとんどのセンターで受け入れ可能との回答をいただいています。今後は、希望者が地域ケア会議に見学できるように準備をしていきます。

注意事項としては、インターネット環境と使用機器のスペックを事前に確認することが大切です。私の失敗談、インターネット光回線につながっていないものと思いきや別な回線につながっていたため通信が不安定となり会議中につながらなくなった苦い経験もあります。

県士会のホームページも県士会主催研修会の案内ページには、※今年度はZoomを使用したWeb開催となります。90分で約1GBのデータ通信量を消費します。また、安定した受信を確保するためにも最低下り10Mbps以上(30Mbps以上を推奨)のネット環境を整えて受講して下さいと記されています。通信速度の確認をされておくと安心と思います。インターネット環境・道具が整っているかどうかで、学ぶ機会の格差が顕著となります。〇〇〇〇を十分活用していきましょう。



令和3年度のフレッシュマンを

長崎県作業療法士会に新しい仲間が増えました！一緒に県士会を盛り上

公立小浜温泉病院



永野 龍生：患者様と信頼関係を築き、適切なリハビリを提供していきます。
東 実幸：患者さんの未来をしっかりと考えられる作業療法士を目指します。

佐世保中央病院



原 銀之丞：先輩方のような頼れるセラピストになれるよう頑張ります。

井上病院



吉田 桜子：日々笑顔を忘れず、何事にも積極的に取り組んでいきたいです！

長崎市障害福祉センター



阿部 ちひろ：お子さんやご家族などを笑顔にできるよう頑張ります！

天神病院



朝日 菜々子：患者様が安心して過ごせる場を目指します。

長崎掖済会病院



吉永 友紀子：患者様にとって相談しやすいOTを目指したいです。

虹が丘病院



光武 佐和子：みなさんから頼りにされる作業療法士になれるようがんばります

西脇病院



浦田 彩：患者様のお役に立てるようになりたいです。
柿本 悠也：患者様から感謝の言葉を貰えるようになりたいです。

三原台病院



笹野 若奈：毎日楽しみながらリハビリテーションを提供していきたいです！
林 良謙：「おっ林良謙が来てくれた！」と思われるようなOTになります！
野間 銀美：患者さんに信頼されるような作業療法士になります！

光武内科循環器科病院



久家 穂乃花：患者様から信頼されるOTに一日も早くなれるように頑張ります。
田中 李沙：患者様のためになるリハビリを提供できるように頑張ります

十善会病院



徳永 菜那：急性期の患者さんの不安に寄り添えるOTを目指します！
井口 真緒：一人一人に合わせた作業療法提供できるように頑張ります。

紹介します！

げていきましょう♪

※写真の左から順に 名前：コメント を記載

長崎北病院



- 島田 美岐：新人OTとして努力していきたいと思います！
- 錦織 菜々子：リハスタッフとして責任を持ち努力していきたいと思います！
- 松尾 明日翔：新人OTとして色々なことに挑戦して学んでいきたいです！
- 高尾 愛梨：患者さまに寄り添えるOTになれるよう日々努力していきます！
- 早瀬 友香：これからたくさん学び努力していきたいと思います！
- 長池 佑華：患者さんの笑顔を引き出せるよう学び実践していきたいです！
- 小川 瑞希：患者様に信頼されるようなOTを目指して日々研鑽に励みます！

耀光リハビリテーション病院



- 中村 翼：患者様が元の生活に戻れるリハビリを提供していきます！
- 辻 智子：患者様に適したリハビリを提供できるセラピストを目指します。
- 林田 千里：患者様に寄り添えるセラピストになれるよう精一杯頑張ります
- 田村 一稀：患者様に信頼されるセラピストになりたいです。
- 宮内 彩貴：一人前の作業療法士になれるよう精一杯頑張ります！！

長崎リハビリテーション病院



- 中尾 葉大：患者様の趣味、特徴をいかした楽しいリハビリを心がけます。
- 原田 銀次朗：全ては患者の為に。精一杯頑張ります。
- 古村 直康：精一杯患者さんのために努めたいと思います！

長崎大学病院



伊達 朱里：今年長崎大学を卒業しました。元気に多くのことを学んでいきます！

令和3年6月6日(日)に 新人オリエンテーション を開催しました！

今年はZOOMを使用しての開催となりました。

「県士会組織について」「生涯教育制度と生涯キャリア育成について」を聴講した後、新人オリエンテーション初の試みとして「グループ交流会」を実施しました！

各9～10名の7グループに分かれ、

- ①入職してからの不安や悩み
 - ②できるようになったことや手ごたえを感じ始めたこと
 - ③1年後の目標
- を議題に話し合いました。



それぞれ疾患やアプローチ方法についての悩み、報告・連絡・相談の仕方など沢山の悩みが挙がりました。

私の「目標」と「計画」

1年後の目標
対象者を正しく評価し適切な介入ができる

目的・目標と時期	達成するための計画	達成時期
対象者を正しく評価する	① 研修資料を事前に読み、内容を理解する ② 研修資料を元に自分の経験と照らし合わせる ③ 研修資料に疑問点があれば、講師に質問する	研修資料を事前に読み、内容を理解する 研修資料を元に自分の経験と照らし合わせる 研修資料に疑問点があれば、講師に質問する
適切な介入ができる		

今後の目標・計画についてはエクセルシートを活用し「1年後の目標」を立て、それを達成するために「具体的な目標と時期」「自分が行うこと」「サポーター」など 具体的なアクションプランを明確にし、グループ内で発表・共有を行いました。

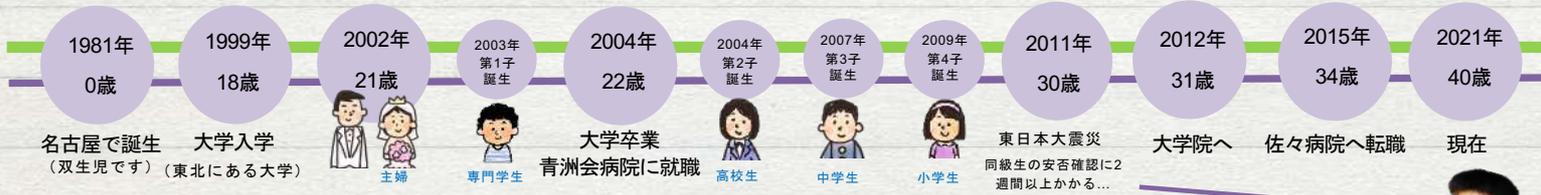
自分の意見を整理し、述べることは緊張したと思いますが、とても有意義な時間になったのでは無いかと思います。

我々は新しい仲間の
成長を支えます

子育てをするならやっぱりOTでしょ！

医療法人みなづき 佐々病院 竹本知高

皆様こんにちは。佐世保市の隣の佐々町にあります佐々病院に勤務している竹本知高です。私は名古屋で生まれ育ち、大学卒業後に妻の実家がある長崎県に就職しました。学生結婚し、働き始めた頃から育児をしており、4人の子供がいます。前職場では身障系のOTをしていました。2015年に精神科作業療法の立ち上げをさせていただいたとはいえ、精神科での経験年数は新卒並みです（笑）



私の働く職場について

診療科：精神科、心療内科
病床数：144床 OT数：1名



佐々病院に入院している患者様の平均年齢は60歳で、統合失調症や双極性障害、人格障害や認知症など様々な疾患の方が入院しています。作業療法士は自分一人なので毎日奮闘しています。一人とは言うもののPSWやOTAの方と一緒に活動を行い、皆さんに協力して頂きながら手芸やSST、運動などを患者様と楽しく行っています。一人職場の上に、立ち上げから行っていますので、自分がやりやすいように活動を組み立てて、やりたいことを行なっています。しかし、144床ありますので、細かい気配りや作業療法が必要なのに実施できていない患者様がいたことも事実です。自分のやりたいことができますが、マンパワー不足によりできない事も多いことが一人職場のメリット・デメリットだと思います。今後は、育児等で培った知識などを生かして精神障害を持つ方ができるだけ地域で生活できるよう支援できればと考えています。

今の目標は75歳まで現役！



学びと子育てについて

私自身、学生結婚をしておりOTとして働き始めた時からすでに子育てをしておりました。妻もPT学科の学生だったという事もあり、仕事への理解がありました。青洲会病院時代に通信制の大学院にて臨床心理を2年間学び、勉強時間の確保や研修費などでかなり協力をしてもらいました。よく子供4人の育児をしながらか協力してくれたなあと感謝しています。今だから言えるのは「勉強できるというのは贅沢だあ」ということです。お金も時間もかかりますので独身の方は今のうちしておくことをお勧めします。今はインターネットも発達していますので「そこまでしなくても勉強できるのでは？」と思う方もいるかもしれませんが、確実に正しい知識や深い知識はネットには載っていないことが多いです。またネットでの情報は後日の研究で否定される事も多いです。このようなことを踏まえると、参考書や大学院進学などにお金と時間をかけることも、自己成長には必要だと思います。県や各団体が実施している勉強会に参加し自己研鑽することが一番行いやすい自己研鑽手段かもしれませんね！

また子育てに関しては、子どもにADHD（疑い）がいます。感覚統合訓練のつもりで家にボルダリングの壁を作りました。以前勤めていた青洲会病院では、子どもの訓練もしてもらいました。子育てをする上でOTの知識や特色、色々なツテを使い子育てをしました。他にも持病にてんかんを持っている子供もおり、他のご家庭よりOTとして得た知識を活かせる家庭だと思います。今はてんかんの子どもは福岡の専門学校に進学し、ADHDの子どももだいぶ落ち着きました。働きながら、また子育てをしながらか大学院を受験しようと決めたのは、当時の子育てや職場での後輩育成、また高次脳障害に関して悩むことが多く、きちんとした知識を身につけようと思ったからです。人間必要性があれば頑張れるものですな。



☆趣味：旅行・スノボ
☆座右の銘：永遠の19歳
☆好きなミュージシャン：ONE OK ROCK
MAN WITH A MISSION

最近ではコロナに伴う外出自粛により、趣味である旅行にも行けないことや子ども達のストレス解消が出来にくい状況にあります。また、基本的に人と関わるのが好きなのですが、飲み会などが開催されないのでも私自身の楽しみもありません・・・。今は、家で子どもとゲームをしながら過ごすことが殆どです。最近のゲームは凄すぎて目が追いつきません。「年だなあ」と感じるこの頃です。今大変な時期ですが、他病院の方々とこの関わりを崩さないようにしていきたいですね。コロナが早く終息し、皆様とお会いできるのを楽しみに待っています！

おまけ

終業後、病院の寮の一室を借りて高校生の娘の部活動が終わるのを待ちつつキャラ弁づくりを頑張ってます！



七つの大罪
ホーク



鬼滅の刃
禰豆子

何のキャラクターかわかりましたか？





広報局のすすめ本



神経障害の行動を紐解くきっかけに

高次脳機能の神経科学と ニューロリハビリテーション

めまぐるしく進化・変化する神経科学とニューロリハビリテーション分野の基礎的かつ臨床的な知見をまとめた一冊。神経障害の病態を行動の観点から探索する、その行動に対して常に興味をもって見続けることが臨床家には求められる、と述べている。また、“この言葉・記述を誰かが引き継ぎ、更新し続けるに違いない。それを今から期待している。”という今から活躍するであろうセラピストに対する熱いメッセージ性も込められた一冊でした。

出版社：協同医書出版社



少年犯罪について 考えさせられる一冊

ケーキの切れない非行少年たち

なぜ非行少年はケーキを等分に切ることができないのか。少年犯罪を犯す非行少年は、発達障害・知的障害を有する傾向にあると著者は教えてくれました。非行少年たちは認知機能の低さ、認知の歪みゆえに非行に走り、反省以前に何が悪かったのか理解できてない可能性がある。発達障害や知的障害を持ち、様々な問題を繰り返す少年たちに対して作業療法士がどう関われるか。

出版社：新潮新書



日々進化する リハビリテーション栄養

「攻めの栄養療法」実践マニュアル

“栄養なくしてリハなし” 著者若林先生の代表的な言葉です。入院患者は栄養障害を有する割合が高く、ADLを阻害する要因の一つだと言われています。リハ栄養研究は日々進化しており、栄養療法のエビデンスも確立されてきています。この一冊は、積極的な栄養療法を展開していくために非常に参考になる一冊だと思います。リハビリに関わる全てのセラピストに読んでほしい一冊です！

出版社：中外医学社



臨床の難しさを再認識した一冊

臨床家諸君！セラピスト達のための教科書

「セラピストとしてどうあるべきなのだろうか？」を追い続けてきた著者の考えが詰まった一冊です。日々対象者と関わり、勤務先で業務をこなすなかで、悩み苦しむ時はあると思います。そんな時、自らの力で自分自身を良い方向へと導いていけるような、自身の立ち振る舞いや態度を客観的に再確認させてくれるような本だと感じました。自分の中の“気づき”、より高みへ導くための“気づき”、逸脱した自分を取り戻す“気づき”……。この本を読んでもう一度初心にかえってみては？

出版社：メジカルビュー社

オンライン研修会などの運営で使えるICT機材の貸し出しができます

県士会事務局では以下のICT機材を保有しています。

所属施設で、または自身の任意団体でICT機材購入を考えているけど、高価な機材をいきなり買うのはちょっと心配。買ってどう使うのか、ちゃんと上手く使えるか不安、といったお考えをお持ち方はいらっしゃいませんか？

購入前の事前お試しとして、県士会所有の機材を短期で貸し出すことが可能です。ご興味のある方はjimuj@nagasaki-ot.comまでご連絡ください。

YVC-1000 (YAMAHA)



web会議はもちろん、音響設備の不十分な小・中規模会場と遠隔地でのハイブリット研修会での使用に適しています。マイク音声をスピーカーから出力すると同時に、PCを介してそのまま遠隔地へクリアな音声送ることができます。拡張マイクも準備しています。

AG03 (YAMAHA)



3チャンネルの音声ミキサーです。複数の音源をコントロールする器材で、ミックス音声の出力チェックも可能です。またハイブリット形式で研修会等をする場合に気になるハウリングを抑制します。その他音響設備の整った施設の器材を利用したオンライン配信を可能にします。

ATEM Mini (blackmagicdesign)



4つのビデオ入力を可能にするビデオスイッチャーです。例えば演者のwebカメラとPowerPoint映像の切り替えや、ピクチャーインピクチャーでの表示、複数のカメラ映像をエフェクト使用しての映像切り替えなどを可能にする、自己完結型の放送品質スイッチャーです。

OfficeCore M2 (eMeet)



スピーカー機能に4つの高性能マイクで360°をカバーし、7~8名程度の会議(半径約8~10m)の範囲で收音を可能にする。AIマイクでエコーやノイズのキャンセリング機能付き。コンパクトサイズで直径約12cmのCD・DVDと同サイズ。接続はUSB/Bluetooth/AUXに対応。

information

県士会ホームページに広報依頼の
フォーム作成しました！



詳しくは、こちらを！



災害リハ情報共有LINE
オープンチャット

県士会として、会員の被災状況の情報共有や、災害リハ関連の情報伝達を目的にLINEのオープンチャットを開始！！
登録時はお名前のところは、「所属 氏名」となるようにご記載ください。

QRコードから登録を！



編集後記

2021年「さいかい110号」いかがでしたか？

コロナ禍に加え、暑い日々が続いています。みなさま、熱中症などにご注意を！

災害（コロナ禍）＋災害（大雨・台風）など災害がダブルでくる可能性も高くなっています！

個人でも災害に備えた準備をしっかりとしていきましょう。

長崎リハビリテーション病院：生田敏明
長崎北病院：牧野航

